

◆事業方針（計画等における位置づけ）

区立小中学校では、地域に開かれた学校づくりのもと、教育活動や環境整備等に地域の教育力を活かした支援を求めており、学校に対する保護者や地域の期待や関心がより高まっている。

各校に学校長から推薦されたスクールコーディネーター（地域の人材）を設置し、学校のニーズに基づいてボランティアとの橋渡しを行っている。

また、スクールコーディネーター同士の情報交換と資質の向上を目的として「北区スクールコーディネーター連絡協議会」を設け、連携をしながら研修や事業の運営を行っている。

◆地域学校協働活動（学校支援活動を含む）の実施体制（特徴・工夫等含む）

各校に配置されたスクールコーディネーターが学校のニーズによって、それぞれの状況・実態にあわせた学校支援活動を実施している。

◆運営委員会

5月14日 委員の委嘱、29年度事業実績報告、30年度事業計画、運営方針決定
3月上旬（予定） 30年度事業実績報告、31年度事業予定

◆広報活動（パンフレット、HP活用、広報誌、報告書など）

平成27年度から「北区スクールコーディネーター連絡協議会」に広報委員会を設置し、広報活動の充実を図っている。学校支援ボランティア活動推進事業の各校における取組や、スクールコーディネーターの活動について学校・地域に広く広報誌を配布している。

◆コーディネーターの育成・交流の機会提供や学校に対する事業理解促進

「北区スクールコーディネーター連絡協議会」を中心に、人材育成・交流を図っている。

5月9日（水）校園長会で周知

5月29日（火）

スクールコーディネーター会議・新任者研修

6月 地区別交流会（3地区）

9月11日（火）スクールコーディネーター研修会

9月11日（火）教務主任研修会で周知

12月5日（水）スクールコーディネーター研修会

1月29日（予定）若手教員育成研修会で周知

2月下旬（予定）スクールコーディネーター会議



スクールコーディネーター研修会

◆成果

○量的把握

平成30年度11月現在ボランティア参加者は延べ3,248人、活動延べ日数1,208日を把握している。

○質的把握

学校支援活動をさらに充実させるため、従来の校園長会での呼びかけに加え、平成30年度は教務主任教員や若手教員を対象とした会において、スクールコーディネーター周知及び活用について呼びかけている。また、コミュニティスクールの学校運営協議会や放課後子ども教室実行委員会の構成メンバーとしても関わるようになってきている。

◆課題・展望

コーディネーターの資質向上や学校支援ボランティア、スクールコーディネーターの活動について学校・地域に対する周知が不十分であることが課題とされている。研修や広報活動、区内小中学校教職員への周知を充実させることで当事業の改善・充実を目指していく。